

付録 17

死

死は、多くの人々にとって大きな謎である。しかし、コーランを学ぶ者にとってはそうではない。私たちは、死とは眠りとまったく同じものであり、夢を伴うことも含まれていると学ぶ（6:60、40:46）。死と復活の間の期間は、まるで一晩眠っただけのように過ぎ去る（2:259、6:60、10:45、16:21、18:11・19・25、30:55）。

死の瞬間、人は誰でも自分の行き先——天国か地獄か——を知る。

不信仰者にとって死は恐ろしい出来事であり、天使たちは彼らの魂を引き抜く際に、顔や背後を打つ（8:50、47:27、79:1）。

コーランは一貫して「二つの死」について語っている。

第一の死は、私たちが神の絶対的な権威を支持する立場を取ることに失敗したときに起きた（付録 7）。この第一の死は、私たちがこの世に生まれるまで続いた。

第二の死は、この世での人生を終わらせるものである（2:28、22:66、40:11）。

次のページは、*United Submitters International* の月刊誌『*Submitters Perspective*』1990 年 2 月号の巻頭記事を再掲載したものである。この号は 1989 年 12 月に事前に完成し、発送されていた。ラシャド・カリファ博士は 1990 年 1 月 31 日に殉教し、彼の魂は直接パラダイスへ迎えられた。

慈愛深き、慈悲深き神の御名において

SUBMITTERS PERSPECTIVE

United Submitters International 月刊誌

神に受け入れられる唯一の宗教を宣言する

1990 年 2 月

【No.62】

ラジャブ 1410

編集者:ラシャド・ハリファ Ph.D. 神の契約の使徒

新たな重大な啓示:

信者たちへの偉大な知らせ:

正しい者たちは本当に死なない
彼らはまっすぐ天国へ行く

وَبَشِّرِ الَّذِينَ آمَنُوا وَعَمِلُوا الصَّالِحَاتِ أَنَّ لَهُمْ جَنَّاتٍ
تَجْرِي مِنْ تَحْتِهَا الْأَنْهَارُ كُلَّمَا رُزِقُوا مِنْهَا مِنْ ثَمَرَةٍ
رِزْقًا قَالُوا هَذَا الَّذِي رُزِقْنَا مِنْ قَبْلُ وَأُتُوا بِهِ مُتَشَابِهًا
وَلَهُمْ فِيهَا أَزْوَاجٌ مُطَهَّرَةٌ وَهُمْ فِيهَا خَالِدُونَ ﴿٢٥﴾

信じて善行を行う者たちに良い知らせを伝えなさい。彼らには川の流れる楽園がある。そこでもたらされる果実の供給を受けるたびに、「これは以前にも与えられたものだ」と言うであろう。彼らには似た糧が与えられ、そこには清らかな配偶者がいる。彼らはそこに永遠に住む。（2:25）

وَلَا تَحْسَبَنَّ الَّذِينَ قُتِلُوا فِي
سَبِيلِ اللَّهِ أَمْوَاتًا بَلْ أَحْيَاءٌ عِنْدَ رَبِّهِمْ يُرْزُقُونَ ﴿٣١﴾

神のために殺された者たちを、死んだ者だと思ってはならない。彼らは生きており、主のもとで養われている。(3:169)

وَلَا تَقُولُوا لِمَنْ يُقْتَلُ فِي سَبِيلِ اللَّهِ أَمْوَاتٌ بَلْ أَمْيَاتٌ وَلَكِنْ
لَا تَعْلَمُونَ ﴿٣٢﴾

神のために殺された者たちについて「彼らは死んだ」と言ってはならない。彼らは生きている。しかし、あなたがたには理解できないだけである。(2:154)

يَا أَيُّهَا الَّذِينَ
آمَنُوا اسْتَجِيبُوا لِلَّهِ وَلِلرَّسُولِ إِذَا دَعَاكُمْ لِمَا يُحْيِيكُمْ

信仰する者よ。あなたがたを生かすものへと招く時、神とその使徒に応答しなさい。(8:24)

وَالَّذِينَ هَاجَرُوا فِي سَبِيلِ اللَّهِ ثُمَّ قُتِلُوا أَوْ امْتَازُوا
يَسْزِئُهُمُ اللَّهُ وَرِزْقًا حَسَنًا

神のために移住し、その後には殺されるか死ぬ者たちには、神は必ず良き供給を与えられる。(22:58)

لَا يَذُوقُونَ فِيهَا الْمَوْتَ
إِلَّا الْمَوْتَةَ الْأُولَىٰ وَوَقَّعَهُمْ عَذَابَ الْجَحِيمِ ﴿٥٦﴾

彼らは最初の死のほかには死を味わうことはなく、神は彼らを地獄の懲罰から守られる。(44:56)

فِيلَ ادْخُلِ الْجَنَّةَ قَالَ يَا لَيْتَ قَوْمِي
 يَعْلَمُونَ ﴿٣٦﴾ بِمَا غَفَرَ لِي رَبِّي وَجَعَلَنِي مِنَ الْمُكْرَمِينَ ﴿٣٧﴾

「樂園に入りなさい」と告げられた。彼は言った。「わたしの民が知ってくれたらよいのに。主がわたしを赦し、誉れある者とされたことを。」(36:26-27)

罪の報酬は死である。[ローマ人への手紙 6:23]

3:81 と 46:9 に述べられているように、神の契約の使徒は何か新しいものをもたらすのではない。私が受け取り皆さんに伝えるものは、すでにコーランの中に存在している。しかしコーランには、全能の神によって特定の時に明らかにされる情報が含まれている。今こそ、上に示された節を見て次の偉大な知らせを学ぶ時である。

正しい者は死なない。

この地上での人生が定められた終わりを迎える時、死の天使は彼らに肉体を離れ、天国へ移るよう招くだけである。そこはかつてアダムとイブが住んでいた同じ樂園である。天国はアダムとイブの時から存在している。89:27-30 において、神が信者の魂に「わが樂園に入りなさい」と呼びかけることを私たちは学ぶ。

私自身の体験

3:81 に従って預言者たちとの神の契約が成就した時、私は正しい者たちが今まさに住んでいる天国へ連れて行かれた(4:69)。私の肉体は地上にあったが、私はアダムとイブの同じ樂園にいた。

不信者たち

不信者たちは死の瞬間、自分たちが地獄に定められていることを知る。天使たちは彼らの顔と背を打ち(8:50、47:27)、魂を追い出すよう命じ(6:93)、そして魂を「引き抜く」(79:1)。コーランは、不信者は二度の死を経験すると教えている(2:28、40:11)。彼らは死の状態——審判の日まで続く絶え間ない悪夢の中で、昼も夜も地獄を見せられ続ける

「無」の状態——に置かれる(40:46)。地獄はまだ実在していない(40:46、89:23)。

もちろん、正しい者は去っていく

地上の人々から見れば、正しい者は「死んだ」ように見える。しかし実際には、彼らは肉体を離れて樂園へ移るだけである。上に示された節はそのことを明確にしている。正しい者が経験する死は一度だけであり、それは大いなる対立(38:69)の結果として私たちがすでに経験したものである。36:26-27 は、正しい者が地上の家族や友人がまだ生きている間に樂園へ行くことを示している。まるでハワイへ先に行き待っているようなものである。

参照: 16:32、6:60-62